



TOKYO 2020

東京2020大会旗事業委託に関する契約変更について

国際局国際渉外部プロトコール課

Feb. 2021

1. 旗プロトコール業務の概要

■ 主な業務

- ・ 大会で使用する全ての旗（国旗、オリンピック/パラリンピック旗、IF旗等）を調達する。
- ・ 旗のデザイン、色について当該団体に本番で使用するものと同じものを提示し、事前に承認を取る。
- ・ 競技会場等での旗の設置、転換、撤去を行う。
- ・ 表彰式、開閉会式等全ての式典で使用する旗を準備する。



■ 大会中に使用する旗

<固定旗> 使用する会場に大会前に設置し、大会中を通して掲揚し、大会後に撤去する。

- ・ **プロトコール旗**…オリンピック/パラリンピック旗、IF旗、開催国旗、組織委員会旗、国連旗
会場により掲揚する組み合わせが異なる。

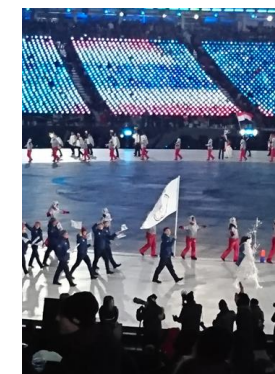
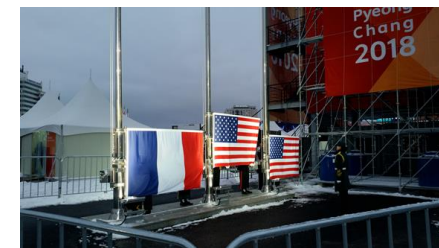
オリンピックスタジアム、選手村：オリンピック/パラリンピック旗、日の丸、組織委旗、国連旗、（ギリシャ国旗）

競技会場、練習会場：オリンピック/パラリンピック旗、日の丸、組織委旗、IF旗

OFH/PFH、IBC、MPC、空港：オリンピック/パラリンピック旗、日の丸、組織委旗

- ・ **万国旗**…オリンピックスタジアムと選手村は全参加国・地域の旗を掲揚。
競技会場はその競技に参加資格がある国・地域のみ掲揚。

<セレモニー旗> 表彰式、開閉会式など式典中に必要な時だけ掲揚する。



2. 当初契約（2019年4月）

■ 契約件名

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の旗調達（リース・購入）及び運用に関する業務委託

■ 契約内容

- ・ 受託者： 株式会社アテナを代表法人とする共同企業体
- ・ 締結日： 2019年4月26日
- ・ 契約金額： V3 予算内
- ・ 契約種類： 複数単価契約
- ・ 選定理由： 以下の条件を満たし、プロポーザル方式で最も高い評価を得た会社を応募3社の中から選定
 - ◆ 約8ヶ月で1万旗以上の製造が可能なこと
 - ◆ 全ての旗を指定されたデザイン、同じ色合いで製造できること
 - ◆ 真夏の過酷な天候下でも一定の強度を保てる布素材、染色の提案ができること
- ・ 委託内容：
 - ◆ 旗の仕様等に基づき、大会時に使用する旗の調達
 - ◆ NOC/NPC旗、IF旗、オリンピック旗のサンプルの作成及び選手団長セミナーでの承認時の立会い
 - ◆ 旗の保管・管理・配送固定旗の設置・撤去等

3. 第1回契約変更（2019年12月）

■変更の内容

「サンプル旗の作成、データの提供」を「データの提供」のみとし、「サンプル旗の発送」を「承認旗の発送」とした。

- ・ サンプル旗の作成（旗とデータ作成）→サンプルデータのみでの作成
- ・ サンプル旗の送付費用→承認旗の送付費用

4. 第2回契約変更（2020年12月）

■変更の内容

大会の延期に伴い計画期間を1年延長すると共に、支払い回数を追加した。

- ・ 契約金額の変更なし
- ・ 契約期間…2020年12月31日まで →2021年12月31日まで
- ・ 支払い回数…2019年9月末締めと大会終了後の2回 →2020年12月末締めを加えて3回

5. 今回の変更内容（全体）

■ 変更の内容

今回の変更は主に以下の3つの理由によるものに分けられる。

- **仕様の変更**…入札時の前提が変わり、契約単価の変更や新たな仕様が追加されたもの。
- **数量の変更**…契約単価や仕様に変更が無いが、数量だけ変更になったもの。
- **大会の延期に伴う変更**…大会の延期を起因として新たに発生したもの。

	変更の内容
(1) 旗の調達	・ 仕様の変更 ・ 数量の変更
(2) サンプルの作成・発送	・ 数量の変更
(3) 選手団長セミナー立会い	・ 数量の変更
(4) 旗の保管・管理・配送	・ 大会延期に伴う変更 ・ 仕様の変更
(5) 固定旗の設置・撤去	・ 仕様の変更 ・ 大会延期に伴う変更
(6) 大会後のリース・処分	変更無し
(7) その他	・ 変更に応じた企画管理費の追加

5. 今回の変更内容①

■変更の背景

- ・会場ごとの設置場所が具体化していく段階で、設置スペースに合わせて様々なサイズで作らなければならなくなり、少量多品種で単価が増額した。
- ・ハンドオーバー旗など当初想定していなかった様々な旗を作ることになった。
- ・現状は仕様変更の無い4,081枚を製造済。残り4,807枚は契約変更後に製造開始。

変更の内容	原契約	変更後
仕様の変更	<ul style="list-style-type: none">・旗の種類…参加NOC/NPC旗、表彰旗、入場行進旗、プロトコールセット、開閉会式旗、採火式旗・旗のパターン…9種類・旗のサイズ…90×135、120×180、270×410・旗周囲の加工…三巻縫製・表裏別対応…2枚貼り合わせ	<ul style="list-style-type: none">・旗の種類…左記に加えてハンドオーバー旗、フラッグベアラー旗・旗のパターン…32種類・旗のサイズ…40×60、80×120、90×135、100×150、120×180、150×225、260×390、270×410・旗周囲の加工…三巻縫製、ヒートカット・表裏別対応…2枚又は3枚貼り合わせ（遮光生地挿入）
数量の変更	合計11,373枚	合計8,888枚

■減額の工夫

- ・旗周囲の加工に屋内会場ではヒートカットを取り入れ、コストダウンを図った。
- ・会場間の使い回しや予備旗の見直しにより製造枚数の削減をした。（合計2,485枚減）

5. 今回の変更内容②

■変更の背景

- ・ サンプルデータの作成はNOC/NPCとの調整の過程で想定よりも多くなったが、海外発送件数を減らして全体としては減額になった。
(調整先：IOC、IPC、NOC…206、NPC…3 (NOCと重複していないところのみ)、IF…38)

変更の内容	原契約	変更後
数量の変更	サンプルデータ作成600枚	サンプルデータ作成700枚
数量の変更	発送件数250件を想定	発送件数は7割程度減になる見込み (未確定)

■減額の工夫

- ・ NOC/NPC、IF等来日時や海外で会議がある機会を利用し、発送件数を減らした。

5. 今回の変更内容③

■変更の背景

- 承認用旗は各NOC、IF 1枚ずつの作成を想定していたが、縦向き・横向き両パターンで承認が必要になったことに加え、修正依頼が想定よりも多く発生した。

変更の内容	原契約	変更後
数量の変更	承認用旗250枚	承認用旗646枚

■減額の工夫

- 色の修正希望はその都度旗を作るのではなく、他国で近い色のパターンを見せて認識合わせを行い、手戻りが少なくなるように努めた。

5. 今回の変更内容④

■変更の背景

- ・大会の延期に伴い、製造済の旗を保管・管理するための費用が発生した。
- ・旗の多様化、複雑化に伴い検品や保管作業に当初の想定よりも多くの時間がかかることで作業人件費が増加した。
- ・搬入時のC to Cを実現するためにVCP認証を取得。VCP認証のセキュリティ要件を満たした車両（運転席と荷が分かれている）の手配が追加となった。（MDCは温湿度管理が無く利用不可）※

変更の内容	原契約	変更後
大会延期に伴う変更	<ul style="list-style-type: none">・旗の保管費（～2020年6月、2021年7月～）・旗の管理費（～2020年6月、2021年7月～）	<ul style="list-style-type: none">・旗の保管費（2020年7月～2021年6月） …倉庫賃料、遮光ネット、空調・旗の管理費（2020年7月～2021年6月） …管理システム利用費、同運用費
仕様の変更	<ul style="list-style-type: none">・旗の保管費・旗の輸送・配送費	<ul style="list-style-type: none">・旗の多様性・複雑化に伴う検品や保管作業の追加人件費・VCP認証の要件を満たした車両手配に伴う追加費用

■減額の工夫

- ・延期に伴う旗の保管は委託会社周辺の倉庫と比較し、坪単価と広さのバランス、必要な機能などの観点から委託会社倉庫で引き続き保管することが最も適切だと判断した。
- ・旗の多様性・複雑化に伴う追加作業人件費は交渉により当初提案から20%カット。

5. 今回の変更内容⑤

■変更の背景

- ・練習会場は入札時都内会場のみで想定していたため、都外会場分が追加となった。
- ・旗の設置・撤去作業はFOPレベルでの作業を想定していたが、会場の状況によりキャットウォーク等高所での作業を要する会場が判明した。
- ・旗の取付けにあたり、設置元からワイヤーで吊り下げたり旗元に芯を入れるなどの追加作業を要する会場が判明した。
- ・大会の延期に伴い、作業要員を再度確保しなければならなくなった。

変更の内容	原契約	変更後
仕様の変更	<ul style="list-style-type: none">・練習会場…都内オリ30・パラ20・設置・撤去作業場所…ポール又はバトンがFOPに昇降して作業・旗の取付け…ポール又はバトンに直接取付け	<ul style="list-style-type: none">・練習会場…都内オリパラ合計50+都外25会場・設置・撤去作業場所…高所作業を要する会場が9会場・旗の取付け…特殊な取付け方法を要する会場が11会場
大会延期に伴う変更	<ul style="list-style-type: none">・2019年から2020年にかけて大会時の作業要員の採用を実施。大会の延期に伴いリリース。	<ul style="list-style-type: none">・2021年夏の大会に向けて再度採用活動を実施。

■減額の工夫

- ・都外練習会場は設置・撤去日をまとめ、作業日数を50日から12日に減らすことで日当や交通費を圧縮。
- ・高所作業は難易度を4段階に分け、一律だった人件費を難易度ごとに設定した。

5. 今回の変更内容⑥

■ 変更の背景

- ・ 仕様の変更や延期により作業量が増加。それに伴い企画管理費が増加。

■ 減額の工夫

- ・ 当初は積み上げでの算出で追加企画管理費を計上。
⇒交渉により入札時の企画管理費の比率を今回の変更による増額分に適用し減額。